

▼グルカロン錠 [内] <製造中止>

【重要度】 【一般製剤名】 アセグラトン aceglatone 【分類】 膀胱腫瘍再発抑制剤

【単位】 ▼187.5mg/錠

【常用量】 1500mg/日 (8錠/日)

【用法】 分4

【透析患者への投与方法】 透析患者への投与方法に言及した文献はないが、減量する必要はないと思われる (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】 透析患者への投与方法に言及した文献はないが、減量する必要はないと思われる (5)

【特徴】 発癌物質はグルクロナイド抱合されて不活性化され、尿中に排泄されるが、尿中または膀胱粘膜由来のβ-グルクロニダーゼにより加水分解されて再び活性型となり、発癌作用をあらわす。本剤はβ-グルクロニダーゼ阻害により発癌物質の作用発現を抑える(芳香族アミンはβ-グルクロニドの形で尿中に排泄される。これを水解する尿中や粘膜中のβ-グルクロニダーゼにより発癌作用を示す)。手術後の再発抑制剤として用いる。

【主な副作用・毒性】 食欲不振、胃部不快感、下痢など

【Umax】 尿中最高濃度は投与後 2hr (1)

【代謝】 脱アセチル化やラクトン開環を受ける (1)

【排泄】 41～67%がグルコ糖酸として尿中に排泄 [24hr まで] (1) アセチル基を有するグルコ糖酸誘導体の尿中排泄率は3～9% (1)

【蛋白結合率】 データなし (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 258.18

【透析性】 データなし (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にならない

【更新日】 20150825

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。